



1月号
(第397号)

武庫川女子大学
附属中学校・高等学校
総務部



「感じる心」

教頭 秋山 千代子

2022年が始まりました。皆さまお健やかに年を越されましたでしょうか。新型コロナウイルス感染症がまだまだ形を変えながら私たちの生活に多方面から影響を与えていますので、心穏やかでないのが残念でもあります。そうはいっても、できる範囲で何事も粛々と進めていきたいものです。さて、こういった感染症の流行は予測できないことで、日常生活にはこのようなことが突然生じていくかもしれません。東日本大震災が発生してこの春で11年目となりませんが、当時私は本校に在職していませんでした。所属していた学年の先生方の中に、宮城県に実家があり、そのご実家が被災されたことと聞き、何かお手伝いをしてあげたいという気持ちで震災6ヶ月後、ボランティアに数人の先生方と宮城県に行きました。ボランティアを通して感じたことや、被害の状況などを当時の生徒の皆さんに伝えました。常任委員会の人たちは募金を思い起こし、全校生徒にはたつきかけ、武庫川フェスティバルの物産展で東北から取り寄せた商品を売ることで、収益金を送りました。また高校3年生の何人かが、被災した幼稚園に夏休みの家庭科の課題で作ったおもちゃを送ろうと発案してくれました。そこで、全校生徒が作ったおもちゃ約1000個を宮城県にあるいくつかの私立の幼稚園に送りました。その後、本校の広報担当の先生がおもちゃを送り出した幼稚園に毎年近況をお尋ねしてくださっていたのですが、去年の春にお便りすると、ある幼稚園の園長先生が、皆さんの先輩方の作ったおもちゃを10年たった今でも、汚れたら洗って大切に使用してくださっているというお知らせを聞き、私は思わず声を上げて驚きました。確かに先輩方が作った布の絵本や、フェルトのおもちゃは大変素晴らしいのですが、それをまた大事にしてくださった気持ちに深く感動しました。きっと先輩方の心を感じてくださったのでしょう。

また、そのことを全校生徒の皆さんに伝えると、私たちがまた作って送りたい！という声が上がって、作ってくれた物を2学期に送りました。このことから、先輩方を含め、生徒の皆さんの「感じる心」がつながっていったのではないかと思います。これからは生じていく様々な事柄をしっかりと心で受け止め、その時どう感じて、動いてみるのか。「感じる心」で今年もしなやかに過ごして欲しいと思います。

SSH成果発表会

アカデミア探究部部長 山田 千香子

毎年12月の第3土曜日にSSHの成果発表会が行われます。今年も昨年同様、中高のキャンパスを会場として行われました。今年も保護者や一般の方もおいでいただき、活発なやりとりがそこかしこで見られました。

CSコースの中学生・高校生の発表に加えて、昨年からはCGコースのMSタイムで探究した内容も発表されるようになりました。今年もCGコースの中でも高校1年のDS型や高校2年のGEC系の発表もあり、内容の幅が広がりました。口頭による発表が午前中に7本、昼食とポスターセッションを挟んで午後には4本行われました。ポスター発表は全部で

59本あり、その内CGコースから高校1年10本、高校2年9本、高校3年はプレゼンテーションルームでの口頭発表を含め9本の発表がありました。ポスターセッションの時間では、奇数番号と偶数番号が30分交替で発表を行い、他班の様子を見て回る時間が設けられ、CGコースの生徒がCSコースの発表を見学してその内容の深さに驚いたり、CGコースGEC系の生徒たちの英語のプレゼンテーションのレベルに驚愕したりと、それぞれに大きな刺激を受け合った一日となりました。この驚きや学びは今後の学校活動に活かされることでしょう。



ENGAGED SUMMIT

本校で採用している教材であるエナジードが開催するエナジードサミット。参加者3,297人の中から、「ENGAGED SUMMIT2021 THE FINAL」に進出する「ファイナリスト10組」として本校の生徒たちが選出され、12月18日(土)に全国へのオンラインサミット形式で参加しました。本サミットは、日常の問題を解決するためのアイデアをプレゼンテーション形式で表現し、本選に出場が決まるまで、3回の予選をくり返す必要がありました。そのたびに、改善を繰り返していき、本番は素晴らしい発表を行いました。参加した生徒たちからの感想です。

兼崎 日菜乃(高2)

高校1年生の時にエナジードサミットに出たいと思いつき、高校2年生の7月から約5ヶ月間本番に向けて準備を進めました。発表で一番気をつけたことは表現方法です。「聴覚障がい」というセンシティブな事柄について触れるため、言葉に気をつけながらどのように想いを伝えるか試行錯誤しました。また、私たちならではのユーモアを發揮するために、途中に笑える所を作り、個性溢れる発表を心がけました。準備期間には他の多くのイベントがあった為、時間の合間を縫って資料を作りました。

しかし、この活動を辞めたいとは1度も思いませんでした。「聴覚障がい」を個性として認め、個性溢れる未来を創りたい」という強い意思があったからです。そして本番では、私たちの発表を通じてこの思いが多くの人に伝わりました。全国大会という慣れない場でしたが、1人ではなかったことでリラックスして楽しんで発表することが出来ました。新型コロナウイルスの影響でなかなか全国の人と直接関わる機会がない中で、このエナジードサミットのようなオンラインを利用した意見交流の場があることは、本当に素晴らしいことだと思いました。また、未来を創るためにアイデアを練って動いている中高生が多くいたということに感動しました。最終選考に選ばれた私たちを含めた10組の発表しか聞くことが出来ませんでした。それぞれが未来を良くするための強い意志を持って行動をしていて、発表を通じて多くの事を学びました。今回得た多くの学びを、今後の学校生活や未来に活かしていきたいと思えます。全国大会で発表するにあたり協力してくださった全ての人に感謝を伝えたいです。今後も未来を開拓していくために、努力をしていきます。

宇川 恵里(高2)

ENGAGED SUMMITのテーマ「きみは未来を創ることができるか」のように、これから未来を生きていく私たちが、世界中の誰もがまだ見ぬ世界を創るために、このENGAGED SUMMITに参加しました。応募要項を見た時に、親戚の子の問題解決に自分がチャレンジしたいと思いつき、そのアイデアを発信

できる絶好の機会だと思ったからです。問題発見から具体的なアイデアまで、全てのことを一からするのは、本当に大変でしたが一緒に出場した兼崎さんの力と多くの方々からの支えにより最高の発表ができました。

また、発表では、どうすれば相手に伝わるかということ工夫しました。それによって、原稿作りやプレゼン力などを身につけることができ貴重な経験になりました。今後はこの全国大会で養った力をこれからの自分の人生や将来に活かしていきたいと思えます。

毎日甲子園ボウル

12月19日(日)、バトントワリング部とマーチングバンド部が、合同で「第76回 毎日甲子園ボウル」のハーフタイムショーに出場しました。



寒空のなかでしたが、その寒さを吹き飛ばすような、熱いショーを披露してくれました。テーマは「未来へ紡ぐ」とし、明るい未来へ思いを託し、今年も甲子園ボウルを盛り上げました。高校バトントワリング部は「ベートーベン作曲の「運命」、マーチングバンド部は「天気の子」がテーマでした。最後は全員で演技を披露し、観客をひきつけました。感謝の気持ちを込めて演技・演奏をした生徒たち、観客席からは、大きな拍手や声援が送られました。出場者の感想です。

山田 萌生(高3)

バトン部

6年間のバトン部での大きな行事が終わり、ほっとすると同時に少し寂しさも感じます。全国大会や中高大会とはまた違うショーという形で踊ることができて嬉しかったです。昨年はコロナのために甲子園球場で行うことができませんでしたが、今年も試合が行われる本場の場所でハーフタイムショーが行え、こんな機会をいただけるなんて本当にありがたいことだと実感しました。また武庫川女子のバトン部としてお客さんに観てもらいながら踊るのは最後だったので、このような大きな舞台で踊らせていただけたいと思います。大会続きの合間の短い練習時間でしたが、中1から高3までの全員で踊れて最高のハーフタイムショーになったと思います。甲子園ボウルの関係者の方々や先生やコーチ、支えてくれた先輩や家族にたくさん感謝を伝えたいです。一生に残る思い出になりました。

マーチングバンド部

北原 麻里菜(高3) 昨年は、ビデオ撮影による出演でしたが、今年も、甲子園球場のグラウンドの上に立ち、生で演奏演技を

観ていただくことができ、心の底から嬉しく思います。甲子園ボウルを通し、様々なことを学び、貴重な経験をさせていただくことができました。この経験を今後活かしていきたいです。この様な機会を与えていただき、本当にありがとうございます。

海外の大会を経験して、力ヌーが開いた未来

カヌー部

私は、昨年4月の日本カヌー連盟の海外派遣選考会で優勝し、2021年度日本カヌー連盟オリンピックピックホープスU-15日本代表に選ばれ、9月5日からチェコ共和国ラシエに行かせていただく機会を得ました。



岩井 瑞希(中3)

また、日本人チームはあまり他の人に声をかけたりしないのですが、外国の人たちは見ず知らずの人にもどんどん積極的に声をかけていくのがすごいと思いました。

私の海外でのレースは準決勝敗退で、外国の人たちの技術やパワーに圧倒されました。今回、オリンピックホープス日本代表として派遣され、いろいろな経験をさせていただきました。そして、これから強化指定選手として、さまざまな強化プログラムに参加していきます。

オーケストラ部『第30回記念定期演奏会』開催

部長 高橋 七楓(高3)

12月19日(日)に公江記念講堂で第30回記念定期演奏会を開催しました。今回の定期演奏会は5年一度の節目である第30回というところでOGの先輩方と合同演奏をさせていただき、とても貴重な経験となりました。



創作ダンス発表会

顧問 山中 寿美



12月24日に第5回創作ダンス部発表会を無事に終えることができました。コロナ禍でありながらも発表会開催を許可してくださった学校関係者をはじめ試合前にもかかわらず快く会場を貸してくださったバドミントン部の皆さんには感謝するばかりです。

将来、彼女たちが何かに直面したときに、部活で学んだ事を生かして多くのことを乗り越えてほしいです。顧問としても日々、彼女たちと共に考え、決断し、勇敢に行動できるように成長していきたいと思っています。

私たち、高校3年生にとって最後の舞台となる発表会が開催されました。沢山の方々に足を運んで頂くことができ、部員一同、心から嬉しく思いました。

☆様々な分野での活躍☆

【読書感想文】

◇第67回 青少年読書感想文兵庫県コンクール

【高等学校の部】

・兵庫県学校図書館協議会賞 坂東 優希(高3)

◇第49回 兵庫県私立学校読書感想文コンクール

【高等学校の部】

・特選 坂東 優希(高3)

・入選 谷垣 百花(高3)

・入選 森田 汐音(高3)

【中学校の部】

・入選 寺井 穂香(中3)

・入選 牧野 夏花(中3)

・佳作 伊熊 美咲(中2)

【新体操部】

◇兵庫県高等学校新体操新人大会

11/19(姫路ウイंक体育館)

・女子団体競技 3位 武庫川Aチーム

・春里 菜月、辻上 七愛、松下 莉子(高2)

仲西 愛、山本萌々花(高1)

◇【水泳部】

◇兵庫県高等学校対抗冬季水泳競技大会

12/19(尼崎スポーツの森)

・女子総合第3位

・50m自由形3位 丸井 花音(高2)

・50m平泳ぎ2位、小坂田 愛(高1)

・100m平泳ぎ2位、岡部 仁胡(高2)

・50mバタフライ2位、

・100m個人メドレー3位 米田 華(高1)

・400m自由形3位 米田 華(高1)

◇【バトントワリング部】

◇第49回 バトントワリング全国大会

12/11・12(幕張メッセ)

・学校部門 高等学校の部 バトン編成

高校チーム 銀賞

◇第42回 関西中学校・高等学校バトントワリング大会

12/18(兵庫県立総合体育館)

・中学校バトンの部

・中学校Aチーム 金賞

・中学校Bチーム 金賞

・高等学校バトンの部

高校チーム 金賞

【柔道部】

◇兵庫県中学校柔道新人大会

12月4日(高砂市総合体育館)

・52kg 3位 片山 愛結(中1)

・70kg 2位 前川 茉愛(中1)

◇第44回 全国高等学校柔道選手権大会 兵庫県予選

12/11(グリーンアリーナ神戸サブアリーナ)

・48kg 2位 吉岡 奈穂(高2)

・52kg 2位 膽吹理世奈(高1)

・63kg 1位 名田心々菜(高2)

・3位 宮本 楓音(高2)

*この結果、名田さんは3月に日本武道館で行われる全国高等学校柔道選手権大会への出場決定

◇【空手部】

◇第30回 近畿中学校空手道選手権大会

12/19(兵庫県立武道館)

・中学女子団体組手 第3位

山崎 咲奈(中3)、新井 圭愛(中1)

木原 心優(中1)、玉城岸梨花(中2)

杉本桜永遠(中1)

◇【美術部】

◇第5回 チャリコンステッカーデザインコンテスト

10/16(大阪芸術大学短期大学部)

・特別賞 毛利さくら(高2)

◇【放送部】

◇第50回 全国高等学校ラジオ作品コンクール

12月10日(録音審査、東海ラジオ放送本社)

・アナウンス部門 優秀賞 陳 来華(高3)

金山 未来(高3)

2月行事予定

Table with 2 columns: 日曜 (Day of the week) and 行事予定 (Event Schedule). It lists various school events, exams, and activities for the month of February, including national holidays and school-specific programs.

*備考 ○学部学科説明会(全土曜日)